

## 平成26年度施策評価調書

整理番号	26
評価担当課	教育部 学校教育課

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	就学機会の確保(5-4-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	4	高等学校教育の振興

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	本市には、道立高校が2校(8間口・定員320人)あり、少子化が進む中で、生徒の確保が厳しい状況にあるが、普通科・産業学科と中学卒業生の多様なニーズを受け入れることが可能な間口の維持が必要となる。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	市内各中学校の生徒への進路指導において、名寄高校(旭川以北の有数な進学校)、名寄産業高校(職業学科集合型の専門校)の特色ある教育活動を紹介しながら間口確保に努めている。
施策の課題	名寄高校については、間口維持が図られているが、名寄産業高校については、学科によっては定数を大幅に下回っている状況にある。しかし、道北地域の産業を支える人材の育成という役割を担っていることから、単に本市だけではなく関係市町村全体での間口維持に向けた対策が必要となっている。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	現状では、2校8間口を維持しているが、将来的な中卒者の減少を考慮すると、関係団体等と連携し間口維持に向けた対策が必要となる。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

引き続き、関係団体等と連携し間口維持に向けた対策を進めていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

—

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)